

教科(科目)	福祉(介護福祉基礎)	実施学年 (履修規定)	第1学年 必修
単位数	2単位	教科書	介護の基本(メヂカルフレンド社)
		副教材	介護福祉用語辞典(福祉教育カレッジ)
科目の目標	介護を必要とする人の尊厳の保持や自立支援など介護の意義と役割を理解させ、介護を適切に行う能力と態度を育てる。		
目標達成に向けての取組	<ul style="list-style-type: none"> ・介護を取り巻く社会状況を理解させ、介護従事者として国民の求める介護従事者としての職業観を育成する。 ・サービス利用者のプライバシーや人権尊重の意義を人間としての尊厳の保持するための介護の必要性に関連づけて理解させる。 ・高齢者だけでなく障害児・障害者について介護保険法や障害者自立支援法のない用について具体的に理解させる。 ・介護者の安全や倫理について介護実習の取り組みと関連づけて体験的に学習させる。 		

◇ 進度

月	単元	学習内容・項目・活動等	評価方法・項目等	評価の規準等
4	介護の意義と役割	○介護の意義 ・介護とは何か ・介護の目的 ・介護の原則	アンケート調査 事例	・社会の求める介護観を理解する。 ・介護の原則を事例を通して考えることができる。
5		○介護の分野と介護従事者 ・介護の小史(社会福祉士および介護福祉士法) ・介護の社会化	授業観察	・介護が専門職となった背景を理解する。 ・家族形態の変化を理解する。
中間考査(内容把握、介護従事者の倫理、介護の社会化の社会的背景)				
6		・介護活動の場と介護の特性 ・介護と看護の役割 ・他職種との連携	福祉資源調査 社会福祉士および介護福祉士法 項目暗唱	・在宅と施設における介護の特性を知る。 ・いろいろな専門職との連携の必要性を理解する。
7		○介護過程 ・介護過程の意義	VTR視聴 自己評価	・自立支援、利用者の個性重視のため、介護過程が重要であることを知る。
期末考査(内容把握、介護福祉士の職務範囲、介護過程について)				
8	夏期休暇	・ボランティア活動	体験レポート	・福祉体験、ボランティア活動に意欲的に参加した。
9		○介護過程 ・介護過程 ・介護計画作成のポイント ・介護計画作成実習 ・介護記録の方法	計画作成プリント 計画グループワーク、発表	・介護過程の重要性を理解した。 ・積極的に計画立案発表に参加した。 ・適切な記録方法を習得する。
10		○介護従事者の倫理 ・介護従事者に求められる倫理 ・介護従事者に求められる態度	倫理綱領ポイントプリント 授業観察	・法律を自分に当てはめて考えられる。 ・具体的事例を用いて介護者に求められる資質は何かを考える。
中間考査(介護過程の計画レポート、発表、倫理綱領)				
11	高齢者の生活と	○高齢者の生活	授業観察	・在宅及び施設で生活する高

心身の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者と私たち ・多様な高齢者の生活 ・ライフサイクルとファミリーサイクルの変化 	生活歴調査 ノート グループ発表	高齢者の生活の現状を理解する。 ・時代の変遷とライフサイクルの変化を考える。
-------	---	------------------------	---

月	単 元	学習内容・項目・活動等	評価方法・項目等	評価の規準等
1 2	高齢者の生活と心身の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の生活課題 	学習プリント 授業観察	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢期の適応と生活課題を身近な例から理解する。
期末考査（高齢者の生活変化の特徴，現代の家族環境，高齢者の生活課題）				
1	高齢者の生活と心身の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○加齢に伴う精神機能の変化と高齢者の心理 ・精神的，社会的機能の変化と生活への影響 ・老いへの適応 ・高齢者の生き甲斐 	授業観察 老いへの適応説 確認テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の生活や心身の変化に伴う心の変化を理解する。 ・生き甲斐の支援について考える。
2		<ul style="list-style-type: none"> ○加齢に伴う身体機能の変化 ・外見と総体的な変化 ・各機能の変化と生活への影響 運動機能 感覚・知覚機能 	加齢の特徴調べ ノート	<ul style="list-style-type: none"> ・外見の及ぼす影響について考える。 ・身体各機能の変化を理解する。
3		生理機能	小テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・看護基礎医学との関連を意識して学習する。
学年末考査（高齢者の心身の特徴，高齢者の心身の変化への適応）				

評価の観点及び趣旨

科目を2年間で分割履修する初年度であるため，上級学年で学習する体験的，実践的内容項目の基礎となる知識や心構えを理解することを重要な点とする。

① 関心・意欲・態度

介護に関する諸問題について関心をもち，よりよい介護を目指して，意欲的に取り組むとともに創造的，実践的な態度を身につけている。

② 思考・判断

介護に関する諸問題の解決を目指して思考を深め，介護活動の現状について適切に判断し，創意工夫する能力を身に付けている。

③ 技能・表現

高齢者や障害者に対する基礎的・基本的な介護技術を身に付け，介護活動を計画し，適切に処理するとともに，その成果を的確に表現する。

④ 知識・理解

高齢者や障害者に対しての介護に関する基礎的・基本的な知識を身に付け，介護の意義や役割を理解している。

「基礎介護」の総合評価における各観点の割合

- | | | | |
|------------|--------|---------|--------|
| ① 関心・意欲・態度 | 25 %程度 | ② 思考・判断 | 25 %程度 |
| ③ 技能・表現 | 25 %程度 | ④ 知識・理解 | 25 %程度 |